

学習指導案 1

Lesson7-1

本時の目標 英語と日本語との違いを通して、漢字の成り立ちの面白さに気付く。

扱う表現 「What's this?」「It's a pencil.」など

展開

★は電子黒板上の動作ボタンをタッチすることを意味する。

過程	児童の活動	HRT の活動 ●指導の留意点 ◎評価の観点 □支援	実写版 ALT と HRT 指示・発問	電子黒板画面 教材・教具
挨拶	・英語であいさつをする。	英語で全体にあいさつ。	“ Hello, how are you?”	・お天気カード
読み聞かせ	【読み聞かせ】  【シャドーイング】 ・シャドーイングをする。	・絵を見せ、どんな物語か予想させる。 ●話の内容や聞き取れたことを児童に尋ね、確認する。 ★シャドーイング	“どんな言葉が聞き取れましたか。”  “Let's try Shadowing.”	・電子黒板 ・オリジナル読み聞かせ教材
	・めあてを確認する。	●本時のめあてを確認させる。 <u>英語と日本語の言葉の成り立ちについて同じところや違うところに気付こう。</u>		・めあてカード
展開	【Activity 1】 ・漢字を見て、それが水族館のどの生き物かを考え、読み方を推測する。  ・①～③の読み仮名を書く。 ・①～③の読み仮名を発表し、答え合わせをする。 ・④、⑤ができている児童は発表する。 ・①～⑤で気付いたことをワークシートに書く。 ・数名が気付いたことを発表する。  【Let's chant】 ・チャンツをする。	①海星（ヒトデ）②海老（エビ）③海月（クラゲ） ④海栗（ウニ）（sea urchin） 【海のわんぱく坊主】 ⑤海鼠（ナマコ）（sea cucumber）【海のキュウリ】 ★Activity1（海星、海老、海月、海栗、海鼠）教材を見せながら答え合わせをする。 ●①～⑤の写真を見せ、写真と名前との関係などに気付かせる。 ●①～③言葉の成り立ちの共通点や相違点を発表させる。 ◎英語と日本語の成り立ちの同じところや違うところに気付いている。（ワークシート） ・机間指導をする。 □写真と日本語との共通点を書かせる。  ★「レッツチャンツ」をさせる。		・電子黒板 ・英語ノートデジタル版
まとめ	・ふりかえりカードを書き、本時との授業を振り返る。 ・グッバイジャンケン、挨拶をする。	・本時の授業を振り返る。 ・クラスや児童について良かった点やがんばっていた点をほめる。 ・次時予告 ★「グッバイジャンケン」		